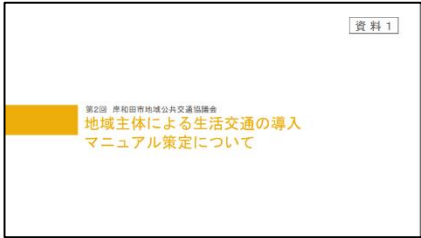


令和 6 年度第 2 回岸和田市地域公共交通協議会

地域主体の生活交通導入について

地域主体の生活交通導入の目的

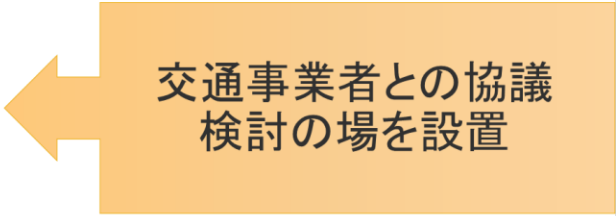


- 令和 5 年度第2回岸和田市地域公共交通協議会
地域主体による生活交通の導入マニュアル策定について
マニュアル策定の目的と方針 より

- 目的：
- 地域の“**持続可能な**”生活交通を確保することで、高齢者の外出促進や地域の活性化を図る
 - 実際の利用者である地域が主体となって生活交通の維持確保に取り組むことで、“自分たちの”生活交通として、「守り」「育てる」意識を持つことができ、**地域の積極的利用**を促進
 - 地域・行政・事業者の**役割分担の明確化**

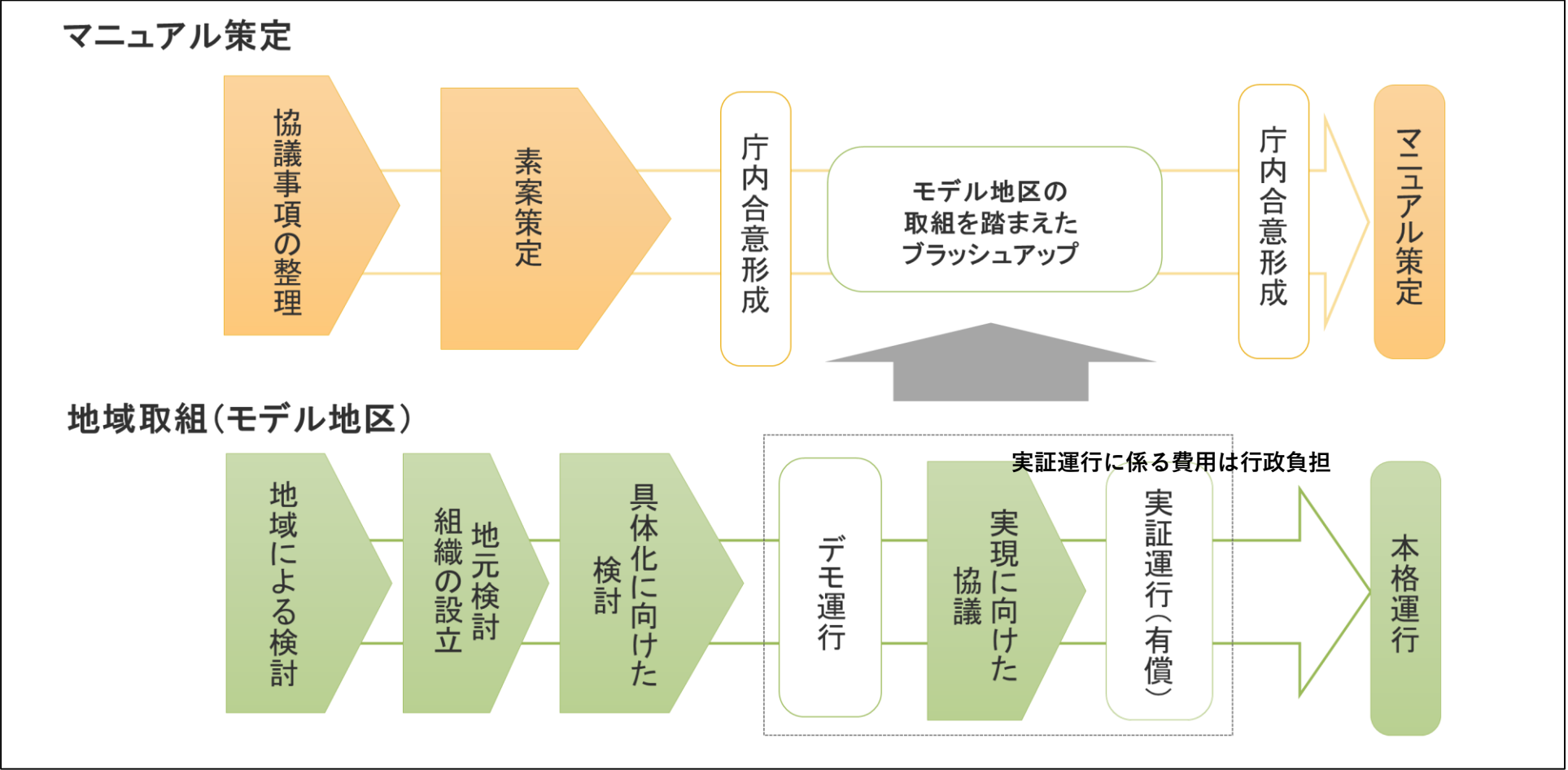


- 方針：
- ✓ **公共交通空白地区や公共交通不便地**の解消



マニュアル策定とモデル地区での取組みの整理

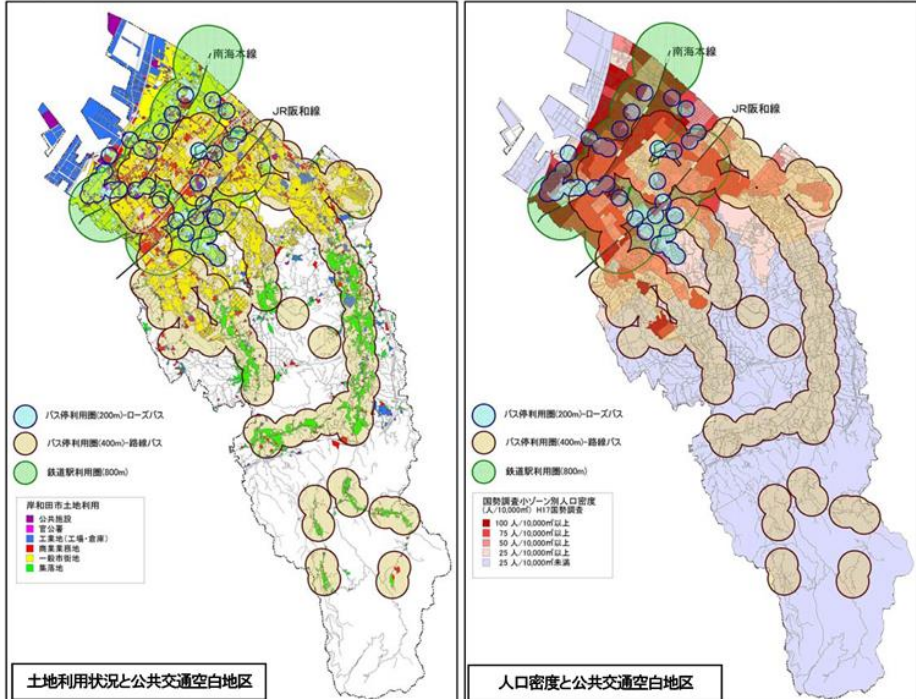
- 令和 5 年度第2回岸和田市地域公共交通協議会
地域主体による生活交通の導入マニュアル策定について
今後の流れと地域取組との整理 より



➤ 令和6年度第1回協議会資料より

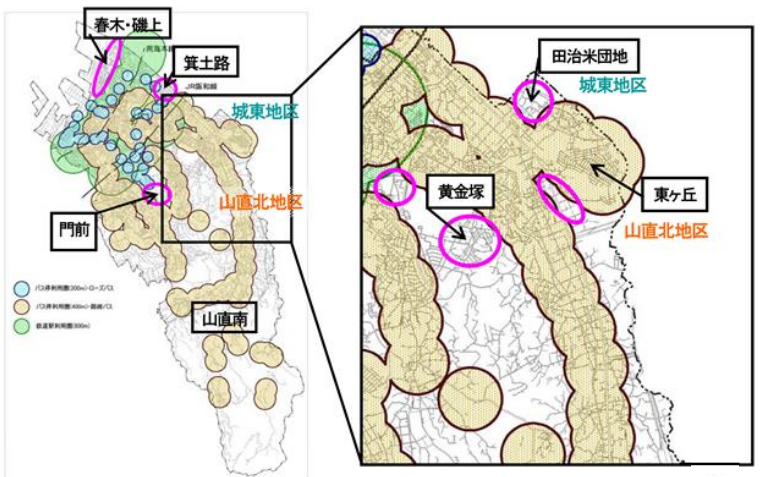
平成24年3月策定 公共交通のあり方検討より

- 岸和田市公共交通の現況における課題・問題点を整理すると以下のとおり
- ① 路線バス・ローズバスでカバーされない公共交通空白地区がある
 - ② 路線バスは、乗降者数の減少に伴い運行便数が減少傾向にあり、地域住民の利便性低下につながっている
 - ③ 公共交通空白地区に人口密度の高い地区や、土地区画整理事業実施中の地区など人口集中地区も見られるため、路線バスの運行ルート導入、コミュニティバスの運行などによる、公共交通空白地区の解消が望まれる
 - ④ ローズバスが JR や南海本線の駅、徳洲会病院などの主要施設に接続していないため運行ルートの再考が望まれる
ただし、路線バスとの路線(区間)の重複を避け、ローズバスと路線バスの運行調整や、乗り継ぎの利便性向上などの取り組みが必要となってくる
 - ⑤ ローズバスの運行収入は2割程度にとどまっており、大部分が補助金により運行されているため、運行ルートの拡大や増便などを行うと赤字の拡大が懸念されることより、利用者拡大のための施策や適正な受益者負担のあり方など、運行収入の拡大方法についても併せて検討する必要がある
 - ⑥ 岸和田市では自家用車の分担比率が非常に高く、ローズバス、路線バスの運行を安定させるためにも、公共交通機関の利用促進策の検討も必要である



※ ローズバスの利用圏域をバス停から半径 200m、路線バスの利用圏域をバス停から半径 400m、鉄道の利用圏域を駅から半径 800m と設定して地形図上にプロットし、公共交通の空白地区の確認を行った

	地区等	状 況 ・ 課 題	具 体 策
公共交通空白地区	春木・磯上 (大芝)	紀州街道沿いなど集落地区では道路が狭くバス運行は困難 臨海線付近の工場跡地で住宅開発が進んでいる 地区内に店舗、病院等が立地し生活利便性がある程度高い 高低差が少なく自転車・徒歩での移動が容易	将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する
	箕土路	国道沿いの区画整理により整備された地区では、事業所等の土地利用が多い 旧集落内は道路が狭くバス運行は困難	将来的な課題として、高齢者などの移動困難者等への福祉施策として、道路状況に対応したバス以外の小型車を活用した移動サービスを検討する
	門前	宅地開発が急速に進み人口が増加 道路が狭くバス運行は困難 都市計画道路岸和田港福田線の事業中	道路整備によりバス運行が可能となった時点で、バスルートの拡充などを検討する
	黄金塚	昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 店舗、病院等が近隣に少なく、生活不便地域区画整理地区では人口が増加している	山直北・城東校区において、コミュニティバスの試験運行を実施する
	田治米団地	府営住宅団地で高齢化が進んでいる(総戸数720)	
バス運行要望地区	東ヶ丘	昭和40年代に住宅開発が進んだ地区で高齢化が進んでいる 団地内は高低差が大きく移動が困難 路線バスが乗り入れており、既存バス路線との整合が必要 蜻蛉池公園～和泉中央駅間へのバス路線新設要望(H22.12.22:山直南地区市民協)	既存路線バスとの競合を避ける為、地域と協働したバス利用促進による路線バスの複便などを検討する
	山直南	市街化調整区域で、高齢化・人口減少が進んでいる 丘陵地区(道の駅)が隣接する 既存路線バスとの整合が課題	将来的な課題として、地区に隣接する丘陵地区整備とも連携し検討する



地域主体の生活交通導入について

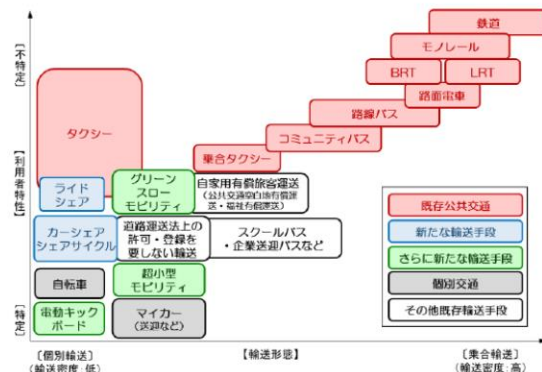
➤ 令和6年度第1回協議会資料より

交通まちづくりアクションプラン（地域公共交通編）

【現在の岸和田市】



【これからの岸和田市】



- 幅広い世代の方が、日常的に外出しやすくするために、人（徒歩）を中心として、自転車、バス、鉄道、自動車との連携を強化することで、**目的や状況に応じた移動手段の選択ができる交通体系**の構築を目指す。
- 異なる交通手段間の乗継抵抗（物理的な面、運賃面、情報面）の低減を図り、**外出機会を増やすための、シームレスな公共交通体系**を実現する。

施策① 公共交通ネットワークの再編

施策② 路線バスのダイヤ改正・利便性向上

施策③ ローズバスのダイヤ改正・利便性向上

施策④ バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系ICカードの普及促進

施策⑤ 新たなモビリティサービスの活用に向けた検討・導入

目標① 多様な世代の移動ニーズに対応した利用しやすい公共交通サービスの提供

施策⑥ 交通結節点等の整備等による乗継の機能強化

施策⑦ 公共交通情報の充実

施策⑧ 移動環境におけるバリアフリー化の推進

施策⑨ 鉄道路線間の連携

目標② 拠点機能向上と持続可能なまちづくりを支援する環境に配慮した公共交通環境の形成

施策⑩ 都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進

施策⑪ 高速バスの利便性向上

施策⑫ 来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実

目標③ 市内外との交流の活発化による住みやすく、訪れて楽しいまちを支援する公共交通体系の構築

施策⑬ 地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組

施策⑭ バス・タクシー乗務員の確保・支援

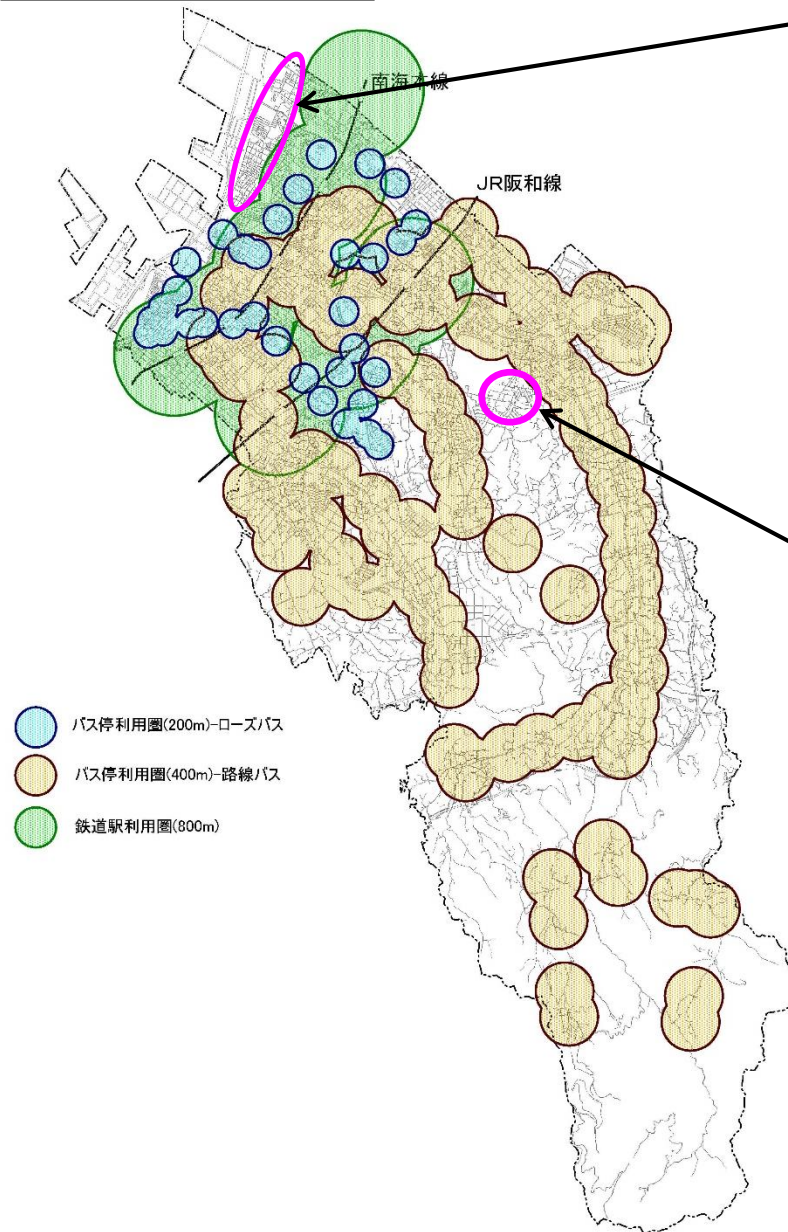
目標④ 市民・交通事業者・行政によるつくり・支え合う持続可能な公共交通の整備

施策⑬

持続可能な地域公共交通の実現を図るため、各地域における地域住民が主体となった交通システム導入検討の仕組みづくりと、交通事業者や市による支援体制を構築し、持続可能な地域公共交通の実現を目指します。また、企業の送迎バスやスクールバスとの連携を図りながら路線バスと競合しない仕組みづくりを検討します。

自発的な公共交通の利用促進に加え、地域バス等の新規導入や運行改善にあたっての地域発案型の市民主体となった検討の仕組みづくりを構築し、持続可能な運行を支える協働の取り組みを進めます。

地域事情と特性



春木・大芝地区

- 人口が集中している地域でありながら、狭路が多く通常のバス車両では運行が困難。
- 特に紀州街道より海側に位置している地域では、鉄道駅・路線バス停留所からも遠い。
- 同地区の高齢化率は岸和田市平均を上回る。
- 「春木・大芝地区地域交通実証運行協議会」を立ち上げ、生活交通確保に向けて実施。

黄金塚地区

- 昭和40年代に開発された地域で、団地内は高低差がある。
- 付近には店舗、病院等が少なく路線バス停留所からも遠く交通空白地となっている。
- 同地区の高齢化率は岸和田市平均を上回る。
- 黄金塚町会（1期・2期）、老人会が中心となり、実行委員会設立に向けて準備中。

春木・大芝地区運行想定エリア（案）



春木・大芝地区 運行概要（案）

実証運行案

	運行期間・時間帯等
運行期間	令和 6 年 1 2 月 ～ 令和 7 年 3 月
運行日	平日（月曜日～金曜日） ※年末年始（12/29～1/3）、祝日は運休
運行時間帯	9:00～17:00（※エリア内のフルデマンド運行）
乗降候補場所	約 1 0 0 か所

利用車両

	内容
使用車両	ワンボックスタイプ
車両台数	1 台
デザイン	車体にマグネット貼付

利用対象者

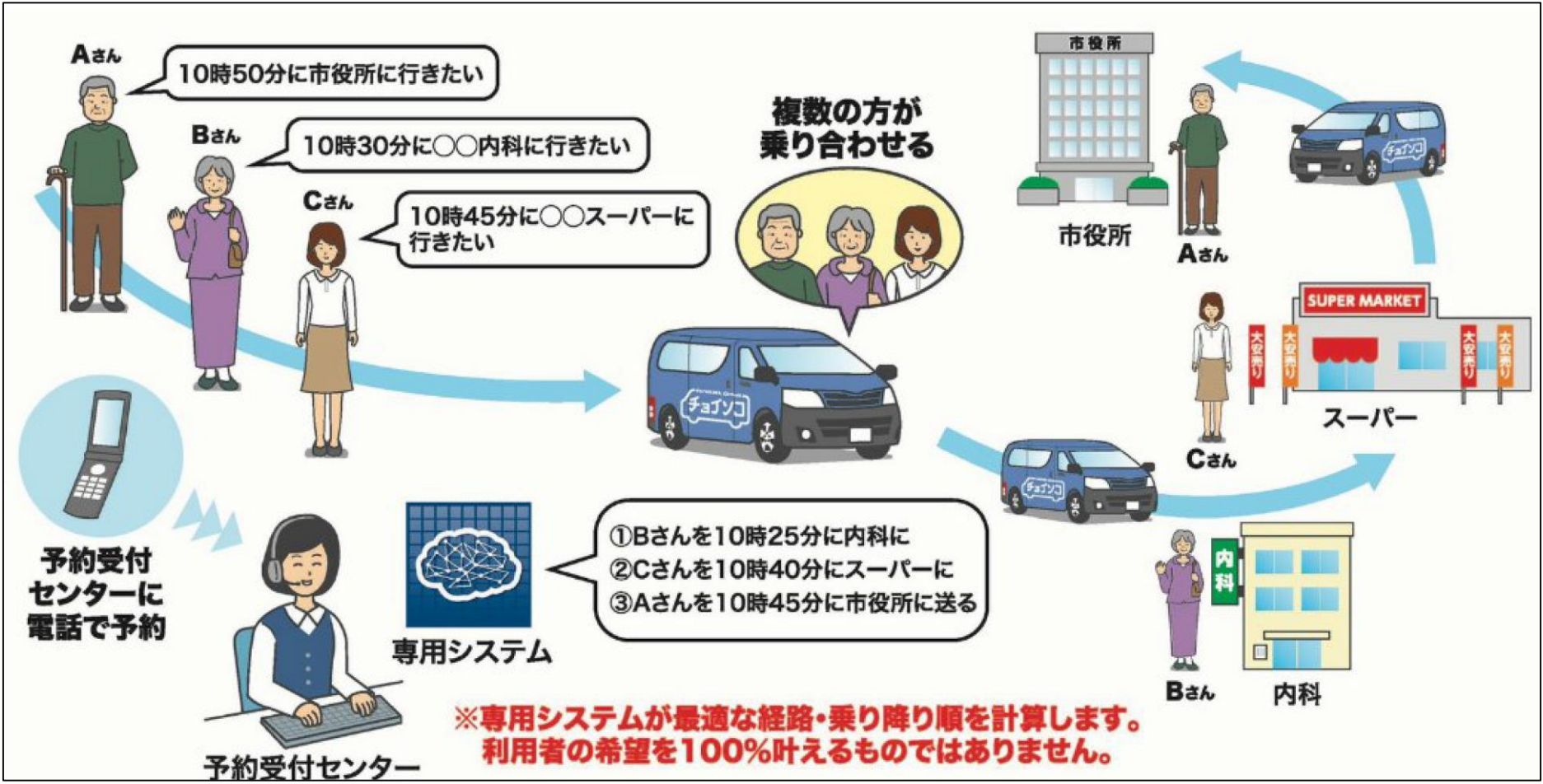
- 申込用紙もしくはWEBにより登録をおこなった会員

乗車料金/決済方法

- 大人 1 乗車 3 0 0 円（徳洲会病院への乗車は 5 0 0 円）
- 現金のみ

デマンド型交通の運行システム

会員登録された利用者から予約を受け、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで乗り合い送迎で運行。



デマンド型交通の利用方法

利用は事前に会員登録を行い、電話またはインターネットで予約が必要。
インターネットの利用が不慣れな方にもご利用頂けるよう、電話での予約も対応。

①会員登録申込

Choyoiso 会員登録 申込書

氏名: 愛新花子様
住所: 岸和田市...
電話番号: 057-00-81194
利用希望日・時刻: 9月6日 11時頃まで
乗る場所・降りる場所: 〇〇停留所から 鈴木整形外科
同乗者の有無: ありません

- ・世帯別ではなく個人別
- ・最寄りの停留所を記載
- ・緊急連絡先を記載
- ・アンケートに記載

会員証が
届いたら
利用可能

②会員証

Choyoisoとよあけ 会員証

会員番号: 000989
お名前: 愛新花子様
電話番号: 057-00-81194
お乗車の登録最寄停留所は
仙人塚第3資源ゴミ置場 です。

お電話でお伝えください

- ① お名前と会員番号
- ② 利用したい日・到着時刻
- ③ 乗る場所・降りる場所
- ④ 同乗者の有無・お名前

受付時間: 8:30-15:30
運行時間: 9:00-16:00

表: 会員番号・氏名・最寄停留所

裏: 予約時に伝える内容

③利用開始

お乗りになりたい30分前までに予約します。
(予約は1週間前から可能)

- ①名前と会員番号 ②利用希望日・時刻
③乗る場所・降りる場所 ④同乗者の有無
を伝えます。

お帰りの予約を
することも
できます



山田花子、会員番号〇〇です。
〇〇停留所から鈴木整形外科に
9月6日の11時頃までに行きたいです。
同乗者はありません。

オペレーターとやりとりし
停留所に来ていただく
時刻が伝えられます。

それでは
9月6日木曜日の
10時35分に
〇〇停留所まで
来てください。



指定された日時に、
停留所に向かいます。



停留所には看板が貼ってあります



お名前
行き先

車が到着したら乗車し
運転手にお名前と
行き先を伝え、
乗車料金を払います。



春木・大芝地区 外部連携施策（案）

鉄道との乗継割引施策

- 本実証の目的のひとつである住民の外出促進につなげるため、南海電気鉄道株式会社との連携により利用促進をはかる。

連携概要案

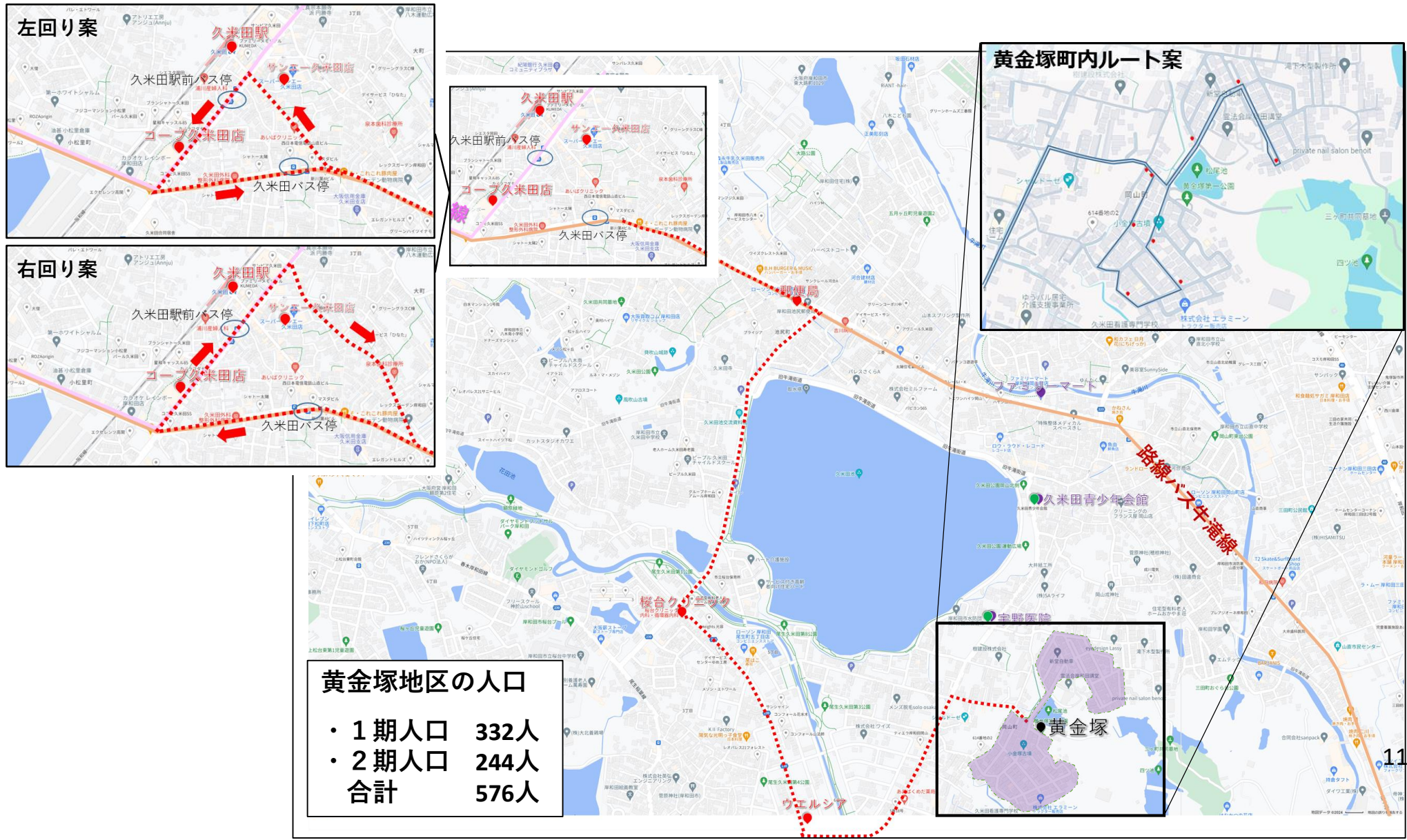
- デマンドバスと南海電車を同日に利用した場合、minapitaポイントを付与。
- 実証実験でニーズや利用状況等を確認し、よりよい方法を検討。他への展開も検討する。

地元企業による協賛

- エリアスポンサー（地元企業）からの協賛・広告料（車体へ広告マグネット、車内サイネージ等）により、運賃費用の一部を支えてもらうことで採算性の改善、運行を維持する仕組みを構築。

※今回の実証では協賛金、広告料は求めないが、将来の収入確保手段として検討を進める。

黄金塚～久米田 地元提案ルート（案）



黄金塚地区 運行概要（案）

実証運行案

	運行期間・時間帯等
運行期間	令和 6 年 1 2 月 ～ 令和 7 年 3 月
運行日	平日の月・水・金・土（土曜日の運行については要検討） ※ 日・祝・年末年始（12/29～1/3）は運休
運行時間帯	9:00～16:30（※定時定路線運行）
運行本数	6 便～ 7 便程度
停留所数	12

利用車両

	内容
使用車両	ワンボックスタイプ
車両台数	1 台
デザイン	車体にマグネット貼付

利用対象者

- 乗合運行のため、対象者の利用制限なし

乗車料金/決済方法

- 大人 1 乗車 3 0 0 円
- 現金のみ（町会等を通じて購入した回数券等も検討）

本格運行等に係る基準について

(令和5年度第2回岸和田市地域公共交通協議会資料 地域主体による生活交通の導入マニュアル策定より)

本格運行等に係る判断について

- 市、利用者等が各役割を担い、持続的な運営を行うために、評価指標を設け、定期的な検証を行う。(達成された場合も利便性向上に向けた改善策の検討・実施を行う。)

【本格運行時の経費のイメージ】

公費(税)負担 (上限を設定)	地域負担 (協賛金等)	運賃
--------------------	----------------	----

収支率50%以上を目標とし、運行収入や公費負担で賄えない場合地域の負担が発生

評価指標(案) (乗合タクシーの場合)

本格運行判断

視 点	評価指標	基 準
効率的な運行が図られているか	乗合率 (平均乗車人員)	1.5人/便以上
地域のニーズに合っているのか	満足度	80%以上

継続運行判断

視 点	評価指標	基 準
効率的な運行が図られているか	乗合率 (平均乗車人員)	1.5人/便以上
地域のニーズに合っているのか	満足度	80%以上
地域により利用促進検討が図られているか	協議会活動数	月1回以上

スケジュール（案）

